

(株)鳥取銀行



頭取

入江 到氏

中期経営計画「共創 innovation」(2021~23年度)で「地域イノベーション」を掲げています。中計開始時に、頭取直轄の地方創生に関するプロジェクトチームを立ち上げています。人口減少などで経済活動が落ち込む中、地域を元気にするために応援する側だけでなく、プレーヤー側にも必要があると考えました。JR鳥取駅前でのにぎわいつくりに向けたイベントや、中

継続的な伴走支援を

関わることでの変化は、銀行の役割として人と人をつなぐことで、地域の連携の輪が広がっていると感じています。業務以外にも、地域

まとも一緒に地域を元気にしていきたいです。一、持続可能な取り組みについては、

お取引先へ短期出向して現場に行員自らが立ち、お客さまとともに事業の課題や改善策を考えています。企業を取り巻く環境が大きく変化している中、販路拡大や生産性向上だけでなく、新たな事業への進出に伴う補助金申請や人材確保などもサポートしています。お取引先の次の事業展開を後押しできるように、一社一社の課題に応じた丁寧な伴走支援を続けていきます。

鳥取銀行 logo and website information: 鳥取市永楽温泉町171番地 https://www.tottoribank.co.jp

大山乳業農業協同組合



代表理事組合長

小前 孝夫氏

酪農の情勢は、国の指導の下、消費のニーズに合わせるために全国的に生産の増産計画が立てられ、生産基盤の強化に取り組みできました。しかし、新型コロナウイルスの影響でインバウンドが減少し消費が低迷、生産が余剰気味になっています。さらに、穀物輸出大国のロシアとウクライナからの輸出がストップ。以前は収入の50%が飼料代でしたが今は75~80%。酪農家は飼料代に加え電気代、

修繕費、建物や家畜の共済費の支出もあり、厳しい経営状況に陥っています。生乳生産現場が弱体化しないよう、国や県、市町に支援をいただく

ここで持続的な経営継続が行われています。新たな取り組みは、生産面では、国内産の資源の有効活用や面積拡大へ種子

代への補助、飼料を新たに使う場合の輸送費など自給率を高める取り組みの助成を始めます。メーカーと連携して豆乳の搾りかすを使ったエコフ

7年前の組合創立70周年時

生乳の増産・質の向上につながる項目を点検して審査し、より高いレベルを目指しています。生産農家がスマホで牛の誕生、移動などの届け出を管理できる「カウネット」を運用し、労力軽減にもつながっています。月に一度、組合から生産者に向けて、酪農情勢なども動画配信しています。

地域に愛される「白バラ」ブランドです。地元企業や学生とのコラボ

白バラ牛乳 大山乳業農業協同組合 logo and contact information: 〒689-2393 鳥取県東伯郡津浦町大字保37-1 TEL.0858-52-2211(代) https://daiyu.or.jp/

安定供給維持を徹底

安定供給維持を徹底



創刊 140th 地域をつないで in June, 2023

日本海新聞創刊140周年記念 新日本海新聞社西部本社設立40周年記念 新日本海新聞社中部本社設立30周年記念 紙上トップインタビュー

未来への展望 2023 VOL.2

困難を乗り越える力がここにある。 トップが描く《これからの時代の戦略》

VOL.2 INDEX table listing various companies and their representatives.

4ページ特集 毎月1回下旬に掲載 次回は5月29日掲載予定 企画・制作/新日本海新聞社地域プロデュース局

Grid of logos for various participating companies including Axis, UMiRai, m&m.co, SAN'IN, SUN CLEAN, etc.

積水ハウス(株)



山陰支店長

おがわ きよし 小川 清志氏

山陰支店の新事務所が移転オープンしました。当社の地方都市拠点として「つながり」をキーワードに、より多くの方に活用いただけるオフィスを目指しています。エントランスホールには集いの場としてカフェスペースを設けたほか、取引先や地元企業とのコラボイベントや教室などを開催できる2階セミナールームは、社員の執務スペースを通らず行き来できる動線を工夫しています。

新拠点を交流の場に

「どのようにつながりを描いていますか。」当社とオーナーさま、当社と取引先といった当社目線の関係にとどまらず、当社を介して多様なつながりをつくりたいと考えています。例えば、ペット共生住宅セミナーを開催する場合、地元の動物病院やペットサロンに協力してい

に努めたいと思います。一オフロでは、「デザインオフィス」の体制強化に力を入れています。デザインオフィスは、当社

在籍し、高いデザイン性を備えた家を実現しています。さらに、デザインと断熱や耐震などの性能を両立できるのが、当社の強みです。デザ

今年12月、米子市内に新店舗をオープンさせる予定。山陰地区のホンダブランド、シェア拡大が目的です。若い社員に新しい職場を提供し、プラ

未来につながる展望ポイントとなります。地域とのつながり。子どもたちの描いた塗り絵を工事現場のフェンスに掲示したり、高齢者に対してはフレクターの装着を呼びかける交通安全啓発活動を行っています。このほか、海岸の大規模清掃活動、SDGs.パートナーシップ取得も考えています。これからもボランティア活動などを通じ、地域貢献を続けていきたいです。



積水ハウス株式会社 山陰支店 〒683-0804 鳥取県米子市米原4丁目2番27号 0859-34-2966

流通(株)



代表取締役

えばら たけし 江原 剛氏

「さまざまな事業を展開されていきます。」創業時からの貨物運送をはじめ、旅客運送、イベント運営に加え、近年は人材サービスを展開しています。時代、地域ニーズに合わせて使うツールは変化しますが、地域密着型のヒューマンスキルの提供という意味ではどの事業も同じ考えで取り組んでいます。新型コロナウイルスで特にバス運行やイベント事業は大きな影響がありました。今

後はアフターコロナで戻りつつある動きを見据え、しっかりとチャンスをつかんでいきたいです。2025年春に再オープンする関金温泉宿泊施設「星取テラス」(仮称)の代表を務めます。3世代で旅行が楽しめるユニバーサルデザインにこだわ

ニーズに応じて変化

「これまで弊社は出張型のサービスを展開してきており、初めて施設を拠点にサービスを手がけることになりましたが、基本的なノウハウはこれ

「地域密着サービス業を掲げられています。」提供されるサービスは変化をしていますが、対象としている地域は変わらないとい

意味で掲げています。私たちが住む地域のニーズを見極めて、ツールを変化させていくという基本的な考えを持っています。関金温泉での宿泊施設運営も同様です。今後も地域に目を傾けて、期待に応えていきたいです。

「今後のビジョンを。」20年7月に湯梨浜町に開設した物流センターを拠点とする業務も多くのニーズをい



流通 鳥取 検索

(株)ホンダカーズ鳥取



代表取締役社長

おの じゅんいち 小野 淳一氏

「アフターコロナ」での取り組みとは。脱コロナでは安定販売を継続していくことが重要。そのためには顧客データに基づき、環境や状況に合わせた提案と精度を上げていかねばいけません。一昨年度は営業利益が過去最高を達成。その要因は「来店客に依存しなかった」ことが大きかったと思います。ショールームで来店客を待っているような営業ではなく、提案型営業ができ

る次世代の店長や管理職育成が鍵を握ります。これが最大の急務です。自動車業界を取り巻く市場環境は変化。人口減少や高齢化社会に伴い、顧客も高齢化が進んでいます。安全運転支援システム「ホンダセンシング」は近年登場の車でないとい

提案営業と人材育成

と考えています。また、今後は電動化へシフトしていきます。テスラやBYDといった海外勢、国内ではソニーといった車メーカー

「アフターコロナ」での取り組みとは。脱コロナでは安定販売を継続していくことが重要。そのためには顧客データに基づき、環境や状況に合わせた提案と精度を上げていかねばいけません。一昨年度は営業利益が過去最高を達成。その要因は「来店客に依存しなかった」ことが大きかったと思います。ショールームで来店客を待っているような営業ではなく、提案型営業ができ

今年12月、米子市内に新店舗をオープンさせる予定。山陰地区のホンダブランド、シェア拡大が目的です。若い社員に新しい職場を提供し、プラ

未来につながる展望ポイントとなります。地域とのつながり。子どもたちの描いた塗り絵を工事現場のフェンスに掲示したり、高齢者に対してはフレクターの装着を呼びかける交通安全啓発活動を行っています。このほか、海岸の大規模清掃活動、SDGs.パートナーシップ取得も考えています。これからもボランティア活動などを通じ、地域貢献を続けていきたいです。



Honda Cars 鳥取 HONDA 鳥取市千代水3-12 ☎0857-28-4122 Honda ASOBI BASE サイトはこちら ホンダカーズ鳥取 HPはこちら

鳥取信用金庫



理事長

たむら ひろぶ 田村 博信氏

「2021年6月の理事長就任時から掲げる経営のキーワードは「つなぐ」ですね。信用金庫は限られた地域で営業する地域金融機関であり、人・企業・地域をつなぐハブとなり、地域の活性化に寄与していくことが使命です。お客さまとお客さま、地域と地域、現在と未来、つなぐべきものはさまざまです。全国に約250ある信金もセントラルバンクの信金中央金庫を通じてつながって

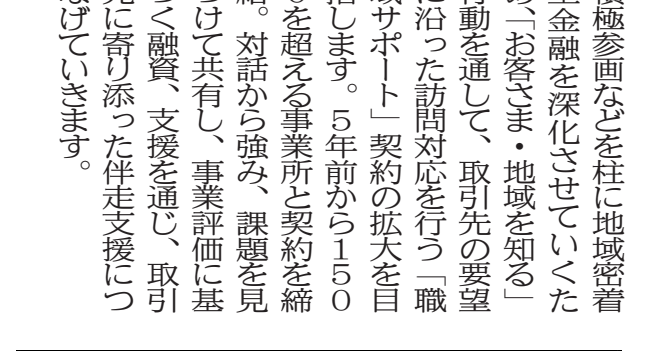
ます。そのネットワークを生かして幅広いサービス、情報を提供できる信金の強みを表したフレーズでもあります。地域の活性化を見据え、展開する地域貢献は。障害者福祉施設への寄付活動や山陰海岸シオパークの応援を長年続けています。コロナ禍では地域応援定期預金

地域密着金融を深化

「エル」を取り扱い、県の医療支援に募集総額の一定割を相当額を寄付しました。また地域におけるSDGsの認知度アップや事業継承支援など

「一緒に知恵を出し合い「face to face」の対話を重ねています。厳しい環境の中でも取引先には成果、変化も見受けられ

積極参画などを柱に地域密着型金融を深化させていくため「お客さま・地域を知る」行動を通して、取引先の要望に沿った訪問対応を行う「職域サポート」契約の拡大を目指します。5年前から1500を超える事業所と契約を締結。対話から強み、課題を見つけて共有し、事業評価に基づき融資、支援を通じ、取引先に寄り添った伴走支援につなげていきます。



鳥取市米町645 TEL0857-23-2411 https://www.shinkin.co.jp/torishin/